

笹川記念保健協力財団 奨学金支援
助成番号:2015-

2016年

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 喜多悦子 殿

2015年度奨学金支援

完 了 報 告 書

所属機関・職 東京大学 医学系研究科 健康科学看護学専攻
修士課程1年 がん専門看護師コース
氏名 平野 勇太

2015 年度 奨学金支援 完了報告書

2015 年 4 月～2016 年 3 月において、以下の内容を修学したため報告する。

がん専門看護師コースの必修科目と関心のある分野として看護管理学特論Ⅰ、看護管理学特論Ⅱ、看護体系・機能学特論、緩和ケア看護学特論Ⅰ、緩和ケア看護学特論Ⅱ、看護コンサルテーション論、疫学、がん看護学特論Ⅰ、がん看護学特論Ⅱ、成人看護学特論Ⅰ、成人看護学特論Ⅱ、臨床腫瘍学特論、医学統計学入門を受講し、単位を得ている。

講義の中では座学だけではなく施設見学・現場の医療職者との意見交換を通し、学習した知識をとどのように現場に生かすことができるかを検討してきた。また、OSCE の習得に取り組み、自身の臨床能力の向上にも取り組んでいる。医学統計学においては基本的な統計学の知識や考え方の習得だけでなく、実際に統計ソフトを用いた演習を行い、自身の研究における統計処理技術の習得を行った。

講義以外にも、がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プランが主宰する公開講座に継続的に参加し、がん分野における現在の問題と問題解決のために他施設が行っている活動等について学んできた。

がん専門看護師コースの必修要件である実習については、役割実習・実践実習Ⅰ・実践実習Ⅱと全ての実習を今年度に修了することができた。

上記、がん専門看護師コースとしての取り組みだけではなく、全学共通で統合的な視野と、独創的な発想を備え、産学官の各方面でグローバルに活躍するリーダーを育成する大学院教育プログラム支援事業の1つである博士課程リーディングプログラム「ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム」(以下、GCL)にも参加し、他分野の学生との交流とプロジェクトの企画・運営から活動を行っている。実際に自身が研究活動費の支援を受け活動を行っているプロジェクトの他に、他分野のGCL生と2つのプロジェクトに関わり活動を行っている。また、GCL必修コースワークとして経営学の授業や工学や情報工学、都市開発など様々な分野の公開講座にも複数参加し、医学以外の幅広い分野の知識の習得に励んできた。

2015 年度奨学金支援として公益財団法人 笹川記念保健協力財団より支援をいただいたことにより、上記の通り就学に専念し多くのことを学ぶことができた。今後もがん専門看護師を目指し、一層の研鑽を積んでいきたい。ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。